

## Unit 16 重文

---

---

ここではいわゆる重文といわれる文を作る際の接続詞をみていきます。代表的な接続詞は and, but, so, orの4つです。

---

### *and* の使い方

---

情報を並列に連結するには日本語だと「と」を使い「AとBとC」のように使います。英語ではand がその役割を果たします。and は連続した事柄を語る際の接続詞です。

She had a bad stomachache and lost weight.

(彼女は胃をひどく悪くして体重が減ってしまった)

また、文頭にand を持つてくることで、会話では、何かいいかけていることを続行する、相手に何かをいうように促すなどの機能があります。

You felt you had been treated unfairly. And you decided to quit the firm, right?

(不当に扱われてきたと思ったんですね。で、会社を辞める決意をしたんですね?)

A: I went to the movies yesterday.

(昨日、映画を見に行った)

B: And?

(で?)

---

### *but* の使い方

---

but は本題をいきなり切り出すかわりに、前置きをクッションにすることで、唐突な感じだとか失礼な感じを和らげる効果を生みます。前置きの部分は、一定の理解を表すという場合と「こんなこといってごめん」と最初に謝るというやり方が一般的です。

A: I think we should do this project first, and if there's time we can do the other.

(私たちはこのプロジェクトを最初にやるべきだと思う。そしてもし時間があればその後にもうひとつのプロジェクトをやることができる)

B: I understand what you're saying, but I think both projects are important.

(彼あなたのおっしゃることはわかりますが、私はプロジェクトは両方とも重要だと思います)

また、譲歩しつつ自らの主張を行う場合にも使います。

She's attractive, of course, but she has no manners.

(彼女はたしかに魅力的だが、礼儀を知らない)

---

### so の使い方

---

接続詞として使われるso には大きくふたつのはたらきがあります。ひとつは、会話において、話の流れを促進するはたらきです。これには、下記の4つの機能があります。

「それで (どうしたの) 」のように相手に発言をうながす。

A: And I found that I'd lost my passport somewhere.

(そしてパスポートをどこかでなくしたのに気がついた)

B: So what did you do?

(それでどうしたの)

自分で話を展開するときに「さて、そこで」というシグナルを出す。

It was getting late, so people started to leave the plaza.

(遅くなってきた。それで人々は広場を離れ始めた)

相手に質問をしたり意見を求めたりする際のシグナルを出す。

So what's your opinion about this problem?

(それで、この問題に関するあなたの意見はどのなの?)

会議などを「では」といって締めくくるシグナルを出す。

So, I think that's about it for today.

(では、今日はこんなところで終わらしましょう)

もうひとつのso のはたらきは、結果を示すというものです。文中ではand so の形で使われることがよくありますが、so だけでも可能です。

I didn't have an umbrella, so I got wet.

(傘がなかったので濡れた)

It was raining, so the picnic was canceled.

(雨が降っていたので、ピクニックは中止された)

---

### or の使い方

---

選択の可能性を示すのが or の基本的なはたらきです。以下は「選択可能性」の事例です。典型的な使い方は以下の通りです。

For here or to go?

(こちらで召し上がりますか、それともお持ち帰りになりますか。)

I think she's from Los Angeles or San Francisco.

(彼女はロサンゼルスかサンフランシスコのいずれかの出身だと思う。)

What would you like for dessert, ice cream or strawberry cake, or both?

(デザートは何を召し上がりますか？ アイスクリームかストロベリーケーキ、それとも両方にしますか。)

Are you coming with me or not?

(私と一緒に来るの、それとも来ないの？)

「～しなさい、さもないと……」という意味合いでもorは使われます。

You have to handle this with care, or you'll break it.

(注意して取り扱わないと壊してしまいますよ)

We'd better run, or we'll miss the last train.

(走ったほうがいい。さもないと終電を逃しますよ)

あることをしなければ、もうひとつの結果を選ぶようになるよという内容の構文だと考えれば、ここでのor にも選択可能性が生かされていることがわかります。